

ベトナム人材市場から独自のニュースを毎月お届け！！



HR-Link ニュースレター

2017年8月号

ベトナム日系企業の給与水準

現在 ASEAN 諸国の中でインドネシアに次いで日本語学習者が多いとされるベトナム。学習者の多くが就労目的で日本語を学んでいるということもあり、日系企業でどの程度の賃金が支払われているかについては非常に多くの関心が寄せられている。

ベトナム情報機関 BzLIVE 社の調査によると、賃金の相場として最も高い業界は IT 産業で経験 5～10 年のマネージャークラスでは 2000～3000USD と最も高い賃金が報告されている。また他のポジションでも同業界は高い給与水準を保っており、経験 3 年のエンジニアで 1000～1200USD が目安となっている。

一方製造業では経験 5 年～10 年の製造管理クラスで 800USD～1500USD、業界未経験の技術者に関しては 400USD～、経験 2～5 年の技術管理者クラスでは 700～1000USD という結果であった。また総務業では未経験で 500USD～、経験 3 年以上の管理者レベルで 800USD～の数値を出している。

これらのデータは日系企業内での職務経験に応じた賃金のデータになっており、従業員の日本語力がどの程度のものであるかは言及されていない。ただし一般的には管理者クラスには相応の日本語力、最低でも英語力を求めるのが普通で、日本人と業務レベルでの日本語力を求める場合は N2 レベル（日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語がある程度理解できる程度）以上が 1 つの基準となっている。

ベトナムでは個人の給与を公言することに抵抗がない傾向があり、そこから発生する賃金的な不満が転職のきっかけとなるケースも少なくない。給与だけでなくその他の福利厚生や環境を整えることによって優秀な人材の流出を防ぐことに努めている企業も最近では増えている。

目次

特集記事

日系企業の給与水準	1
セブンイレブン出店相次ぐ	2
ベトナム人活生の驚き	2
現地採用者インタビュー	3

今号のハイライト

時事ニュース	2
街角便り	3
今月の一品	4
今月の人材	4



セブンイレブン出店相次ぐ

6月15日にセブンイレブンベトナム 1号店をホーチミン1区にあるサイゴントレードセンターに出店以降週1店舗ペースで出店を続け、7月末時点ですでに4店舗を出店させている。

セブン・システム・ベトナムは10年後までにベトナム全土で1000店舗の出店を目指しており、順調にいくと今後さらに出店のペースが加速するとされている。

ベトナムでは南部から外資のコンビニチェーンが進出して久しいが、北部の方では経営に関する規制などからコンビニの存在感はこれ

まであまり強くなかった。しかしこの数年でVinhMart+やサークルKなどのコンビニの出店が相次いでおり、北部、特にハノイにおけるコンビニチェーンの競争が今後激しくなることが予測される。

商品に関してはスーパーなどで買うよりやや割高な印象を受けるが、同社独自の製品などで若者を中心に賑わいを見せている。

こういったコンビニチェーンの進出は個人の商店に少なからぬ影響を与えており、スーパーマーケットの普及による市場の衰退と同様の流れを引き起こすのではという見方もされている。

時事

実用ベトナム語技能検定試験開始

6月25日、東京にて日本初となる実用ベトナム語技能検定試験が行われた。実施するのは、特定非営利活動法人日本東南アジア言語普及交流協会が準6級から1級までの計7段階で評価する仕組みとなっている。

18歳～86歳の受験者約400人が一斉に受験し、今後も受験者数は伸びていくと予想されている。近年のベトナムへの日系企業の進出や、日本国内でのベトナム人数の増加などから今後もベトナム語の需要は伸びていくと思われ、日系企業内での日本人ベトナム語話者の増加にも期待がかかる。

ただし試験内容にいくつかの疑問の声も挙がっているようで、正確なベトナム語力を証明する資格とするにはもう少し改善の必要があるとも言われている。

ベトナム人就活生の驚き：日本の就活どうして？

「留学生30万人計画」というスローガンをご存じだろうか。2008年に日本政府が発表した2020年までに留学生数を発表当時の14万人から30万人までに増やすというプログラムのことである。政府を主体に留学生の呼び込みを積極的に行った結果、留学生の数は順調に右肩上がりの増加を見せている。国別の留学生数を見ると、ベトナムからの留学生の増加が顕著で近年大幅に増加している。

そんな留学生たちは学業を終えた後、そのまま日本にとどまり日本で就職を目指すか帰国して日本語を生かした仕事に就くかに大きく二分される。日本で就職する割合は現在留学生全体の2割程度と決して多くはないが、今回日本で就職を目指すベトナム人の若者が経験した日本の就活で驚いたことを3つ紹介しよう。

①「自己アピールが盛りすぎて変」（25歳：男性）

学校のキャリアセンターにエントリーシートのアドバイスを求めたところ、本来の自分以上にアピールするようなアドバイスをされてありのままでは駄目なのか戸惑った。

②「業種、業界にかかわらずどの会社でも同じ質問をされる」（26歳：男性）

学生時代に頑張ったこと、自己PRがどこも共通で聞かれる。母国では仕事内容に沿った質問が一般的。あと短所を質問されたのは初めてで驚いた。

③「たくさん受けて、たくさん落ちる」（24歳：女性）

母国では卒業後に自分のタイミングで就職活動をするので、日本のように一斉に皆が同じ格好で目次卒業前に就職活動をするのに驚いた。それに2桁以上の会社に応募して、落ちて元々のような雰囲気の子の日本の就活生に異様な感じを覚えた。

一方で学生のうちから社会の基本的なマナーを学べることや卒業前から社会に出る心構えの準備ができることは母国でも見習いたいとの意見も聞かれた。他にもリクルートスーツやリクルートカットといった言葉が規律順守を重んじる日本文化の習慣を感じさせるという面白い意見もあった。日本で就職希望するも叶わずUターン就職する優秀な新卒人材が今後母国でどれだけ活躍できるかに期待したい。



現地採用者インタビュー：鈴木明日香さん 33 歳

今回は 2014 年 11 月からハノイにある物流・レンタカー業 LOGITEM VIETNAM CORP.NO.1 社で働く鈴木明日香さんにインタビューを受けてもらいました。

Q. 現在のお仕事内容を教えてください。

A. レンタカー会社の日本人窓口として、月極顧客のカスタマーケアを担当しています。担当のお客様はほぼ日系企業の方で、通勤や業務中の移動手段として弊社の運転手付きレンタカーのサービスをご利用いただいております。

Q. なぜベトナムで働こうと思ったのですか？

A. 子どものころから漠然と海外で生活したいという希望がありました。そんな中日本で友人を介してベトナム人と知り合う機会があったんです。そこからベトナムに関心も持ち始めて、ベトナム語の勉強も始めました。その日本人の友人がハノイで働きはじめたことも理由としてあります。

Q. LOGITEM 社を選んだ決め手は何ですか？

A. 物流会社に興味があり、頭の片隅で LOGITEM と浮かんでいたところ、たまたま HR-Link さんから業務は物流ではないけど、当社の募集案件を紹介いただきました。営業職は未経験だったので不安はありましたが、カスタマーケアであればこれまでの職務経験を活かして働けると思い面接をお願いしました。長期的に働けることを求めているので、良好な人間関係だけでなく、自分が納得いく労働条件を提示してもらえたことが最終的な決め手となりました。

Q. 実際にベトナムで働いてみて、驚いたこと、困ったことはありますか。

A. 言い方に語弊があるかもしれませんが、ベトナム人スタッフが予想以上の仕事をしてくれた時はいい意味で驚きます。もともと期待値を高く設定していないという失礼ですが、先読みして柔軟な対応ができるスタッフに出会えると素晴らしいと思いますね。困ったことは伝達がうまくいかないことがあることです。仕事内容が十分に伝わらなかつたり、指示した仕事中途半端に終わらされたり、トラブルの報告が遅かつたりなど。コミュニケーションの質と速さを継続的に改善していくのも自分の仕事だとおもっています。

Q. 仕事のやりがいは何ですか。

A. やはりお客様に喜んでいただけたときです。自分が必要とされていると感じられたとき。どんな仕事でもそうだと思いますが、サービス業は担当者のセンスによって、対応は変わりますし、トラブル・クレーム処理のスピードにも差が出ると思います。

次ページへ続く

街角便り



無免許運転－ 警察対策に乗り出す

無免許運転はもちろん違反であり、ここベトナムではベトナム人も含めた無免許運転が警察の頭を悩ませている。

中でも無免許の外国人旅行者にバイクをレンタルする業者が一定数あり、交通ルールや標識の意味が理解できずに事故を起こす外国人が後を絶たない。今年に入ってから無免許運転の外国人ドライバーが死亡する事故が 2 件発生している。

取り締まる立場の警察も英語が苦手なために見逃すケースが多らしく、今後英語に堪能な取り締まりグループを編成して観光地を中心に配置させる案も出ているようだ。

ウイーン条約に加盟している国の場合、母国の運転免許証があれば国際免許証を自国で申請するだけで事足りるが、残念ながら日本は加盟国ではない。よってベトナムの役所で日本の免許証をベトナムの免許証に書き換える必要があるわけだが、職員は通常ベトナム語しか話せないので手続きをする際には通訳者の同行をお勧めする。

今月の一品



ブン ボー フェ (Bún Bò Huế)

ベトナム料理で麺料理といえばまずフォー(Phở)を思い浮かべる方がほとんどと思いますが、日本同様ベトナムにも様々な麺料理が存在します。

今回御紹介するのはブン ボー フェ(Bún Bò Huế)。ブンという米粉から作った麺で、フォー以上にベトナム国民から日々食されています。こちらの料理は中部都市フエに起源のある料理ですが、ここハノイでも多くの人たちに愛されています。

備え付けのライムを絞ってたっぷりの香草といっしょにお召し上がりください。お好みで唐辛子もどうぞ！

ローカル食堂で 30000 ドン(150 円)～

お問い合わせ

HR-Link.Vietnam

15Fl., TTC Bldg., 19 Duy Tan St., Dich Vong Hau Ward, Cau Day Dist., Hanoi (ハノイ本社)

553 Xo Viet Nghe Tinh, Binh Thanh District, Hochiminh City (ホーチミンオフィス)

東京都中央区日本橋箱崎町
32-3 11F 日本 HR リンク株式会社 (日本拠点)

Tel: (84-24) 3795-7037 (ハノイ)

Fax: (84-24) 3795-7038 (ハノイ)

Web: <http://hr-link.com>

HR-Link.Vietnam は、人材紹介事業を通じて企業の事業拡大と個人の自己実現をサポートし、豊かな社会づくりに貢献します。

Q. ベトナム人スタッフとの関係構築のポイントは何だと思いますか。

A. 相手の出方や対応能力を予測しながら、仕事を依頼することは大切だと思います。説明も相談もなしに急に仕事を依頼しても必ずしも受け入れてもらえるとは限りません。特に北部の人は一般的に保守的な人が多いので何か新しいやり方を導入するには周囲の意見を聞きつつ少しずつ変更の依頼をするようにしています。仕事は決して一人では成り立たないので、周囲の意見を聞くことはとても大切だと思います。

Q. 最後にベトナム転職を考える方へアドバイスをお願いします！

A. ベトナムと日本、それぞれ感じるストレスは異なります。合う合わないも人それぞれです。それでも前向きな気持ちで業務に取り組み、社内外で良好な人間関係を結べるようになれば、自分なりのやりがいを見つけられるのではないかと思います。

* 写真：鈴木さん…一番右青いアオザイの女性 同僚の結婚式にて

本ニュースレターに関するご要望、ご意見、その他弊社人材に関するお問い合わせは左記の連絡先または info@hr-link.jp までお願いいたします。